

65 看護師100人当たりの専門/認定看護師、特定行為研修修了者

自院

- 1) 看護師100人当たりの専門看護師数
- 2) 看護師100人当たりの認定看護師数
- 3) 看護師100人当たりの特定行為研修修了者数

指標の意義

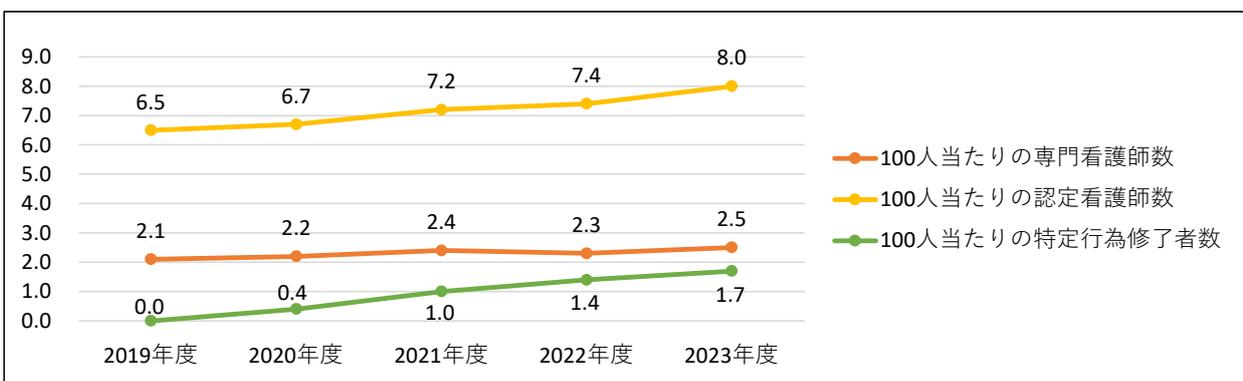
特定分野の専門資格を持つ専門/認定看護師や特定の行為を実施する専門的な知識・技術を持つ特定行為研修修了者が多いことは、特定機能病院やがん専門病院としての看護の質を示すための指標になります。看護師100人当たりの人数が増えることで、臨床現場における指導や教育の充実にもつながり、看護実践の質の向上に寄与します。

定義

- 分子
- 1) (専門看護師数×100)
 - 2) (認定看護師数×100)
 - 3) (特定行為研修修了者数×100)
- 分母 常勤看護師数：2023年度633人

当院の実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	(単位：人)
専門看護師数	14	15	16	16	16	
100人当たりの専門看護師数	2.1	2.2	2.4	2.3	2.5	
認定看護師数	44	46	49	50	51	
100人当たりの認定看護師数	6.5	6.7	7.2	7.4	8.0	
特定行為研修修了者数	0	3	7	10	11	
100人当たりの特定行為修了者数	0.0	0.4	1.0	1.4	1.7	



指標の説明

認定看護師数は、少しずつ増加しています。専門看護師は取得者もありますが退職者もいるため増加はしていませんが、特定行為研修修了者は、2023年度は認定看護師取得後の看護師が研修修了したため増加がみられました。

66

薬剤師100人当たりの専門・認定薬剤師数

自院

- 1) 薬剤師100人当たりの専門薬剤師数
- 2) 薬剤師100人当たりの認定薬剤師数

指標の意義

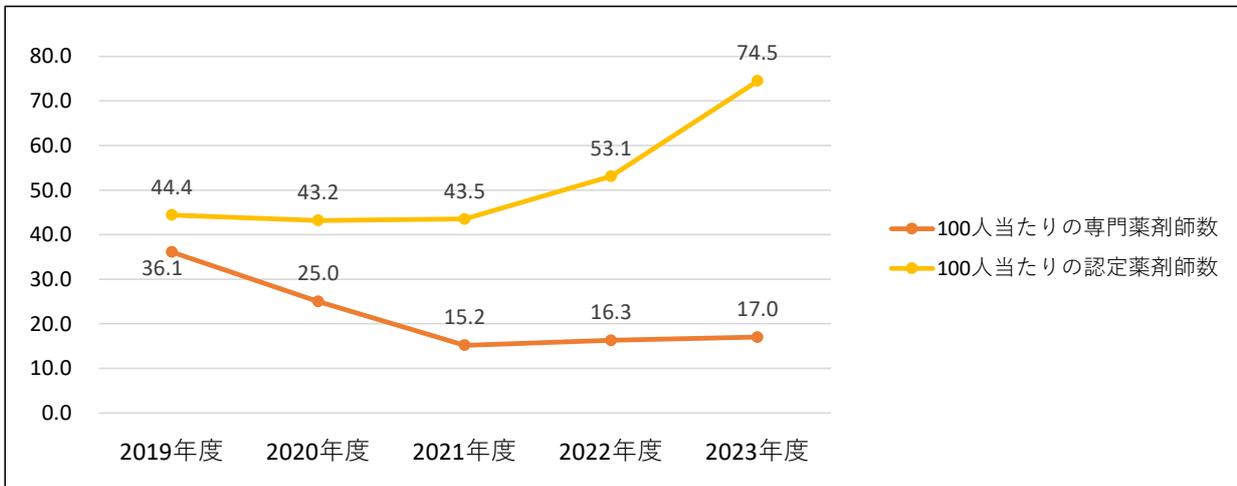
薬剤師のうち、専門薬剤師や認定薬剤師の人数やその割合は、研修制度の充実度や部署の専門性の高さを推し量る指標になります。

定義

- 分子 1) (専門薬剤師数×100)
 2) (認定薬剤師数×100)
- 分母 常勤薬剤師数

当院の実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	(単位：人)
専門薬剤師数	13	11	7	8	8	
100人当たりの専門薬剤師数	36.1	25.0	15.2	16.3	17.0	
認定薬剤師数	16	19	20	26	35	
100人当たりの認定薬剤師数	44.4	43.2	43.5	53.1	74.5	



指標の説明

専門薬剤師数と認定薬剤師数を棒グラフで示し、100人当たりの専門薬剤師数と認定薬剤師数を折れ線グラフで示しました。専門薬剤師数および100人当たりの専門薬剤師数ともに減少していますが、認定薬剤師および100人当たりの認定薬剤師数ともに微増の傾向が認められます。

67

医師100人当たりの専門医・指導医数

自院

- 1) 医師100人当たりの専門医数（広告が可能な医師等の専門性に関する資格（専門医））
- 2) 医師100人当たりの指導医数（広告が可能な医師等の専門性に関する資格（専門医）の指導医）

指標の意義

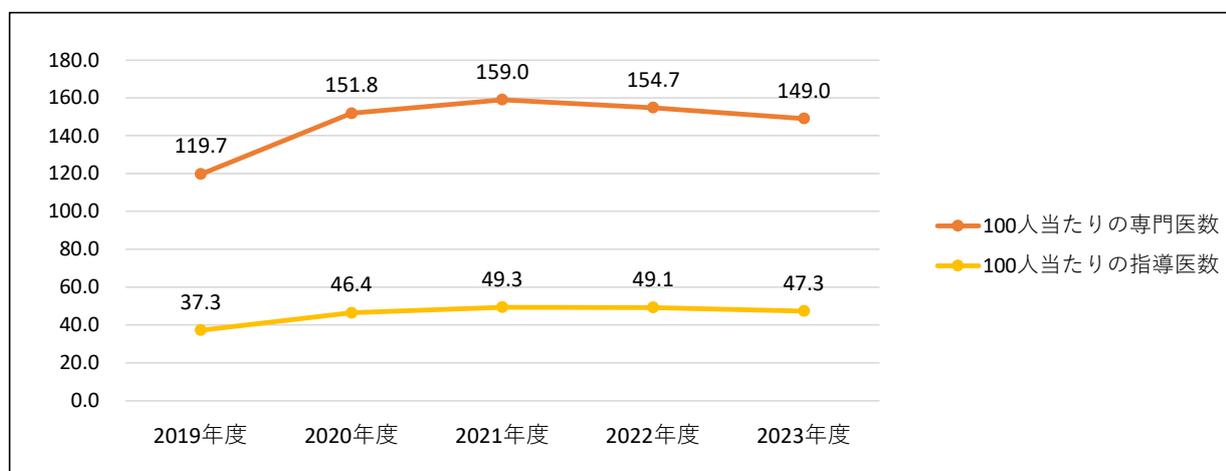
特定機能病院およびがん専門病院として、専門知識・技術を有する医師の占める割合およびその育成は重要です。

定義

- 分子**
- 1) (専門医数×100) ※専門医資格数を算定
 - 2) (指導医数×100) ※指導医資格数を算定
- 分母** 常勤医師数とレジデント数の合計

当院の実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	(単位：人)
専門医資格数	273	337	364	359	360	
100人当たりの専門医数	119.7	151.8	159.0	154.7	149.0	
指導医	85	103	113	114	115	
100人当たりの指導医数	37.3	46.4	49.3	49.1	47.3	



指標の説明

当院は高度医療を提供する専門病院であるため、殆どの職員は既に専門医資格を取得しており、複数の資格を保有する医師も多い。さらに、常勤医師のほぼ全員が指導医の資格を保有しています。

指標の意義

看護職員の知識・技術の向上を図るため、当院では外部の医療機関などからの研修を受入れがん看護の発展に貢献しています。単に受け入れ人数ではなく、延べ人数（人数×日数）として看護職員の教育に対する貢献の程度を指標としています。

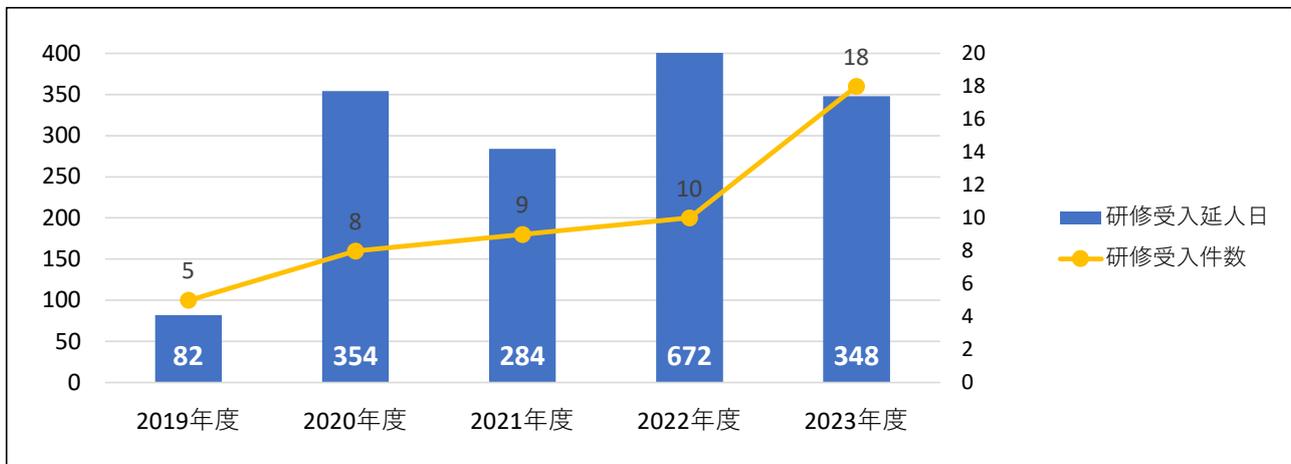
定義

1年間の外部の医療機関などからの研修受入延人日（人数×日数）

（外部の医療機関には、他の日本国内の病院、外国の病院、行政機関、個人からの依頼による研修を含む）

当院の実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
研修受入延人日	82	354	284	672	348	(人日)
研修受入件数	5	8	9	10	18	(件)
国立大学病院 研修受入延人日（平均値）	317.2	324.2	294.3	326.3		(人日)



指標の説明

引き続き、院外からの研修を受入れ、がん看護の質向上に努めていきます。

69

看護学生の受入実習学生数

国立大学
病院

指標の意義

看護職員養成教育機関から、どの程度、看護学生の実習を受け入れているかを表す指標です。間接的に実習の教育体制の充実度を評価することができ、単なる受入れ人数ではなく、延べ人日（人数×日数）とすることで、臨地実習に対する貢献の程度を評価しています。

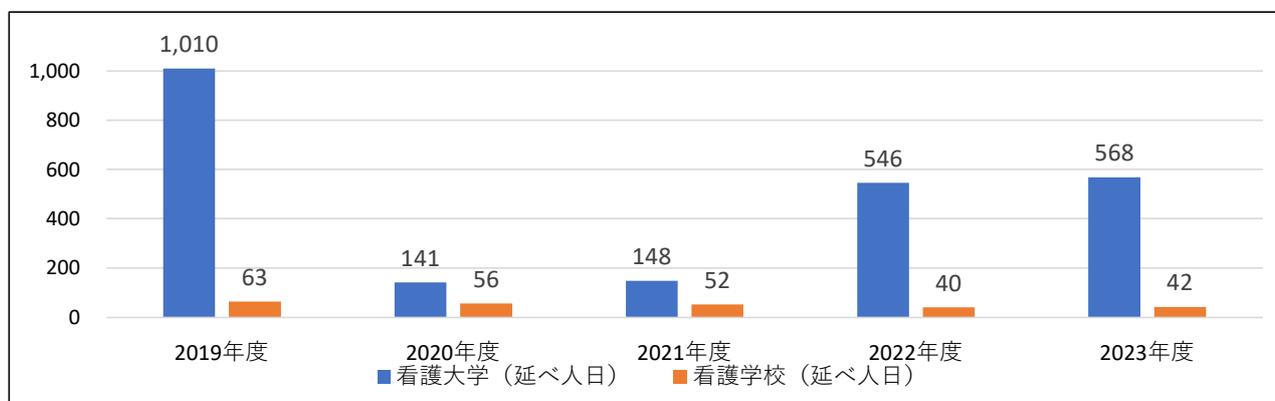
定義

1年間の養成教育機関からの実習学生延べ人数（人数×日数）

（1日体験は除く）

当院の実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
看護大学（延べ人日）	1,010	141	148	546	568
看護学校（延べ人日）	63	56	52	40	42
実習受入総数（延べ人日）	1,073	197	200	586	610
国立大学病院 看護実習受入延人日（平均値）	1,970.1	605.6	1,089.5	1,447.1	



指標の説明

2022年より大学からの実習受け入れはCOVID-19の流行の前に戻ってき568人日を受け入れた。しかし、看護学校はカリキュラムの関係から一度に院内に入る実習生の人数を多く希望されたため、人数制限をしました。このことから2023年度はCOVID-19流行前の受入れ人数に戻っていないと思われます。

70

薬剤師の研修受入数

国立大学
病院

指標の意義

薬剤師の新しい医薬品や治療法などの知識習得と技術向上を、実際の臨床現場で学び続けることが必要です。薬剤師の現任教育及び再教育の体制が整っていることを表現する指標です。

定義

1年間の外部の医療機関などからの研修受入れ延人日（人数×日数）

（外部の医療機関とは他の病院、外国、行政機関、個人とする）

当院の実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	(単位：人日)
他の病院（延べ人日）	0	0	0	0	0	
外国、行政機関（延べ人日）	0	0	0	0	0	
個人（延べ人日）	0	0	0	0	0	
研修受入総延人日	0	0	0	0	0	
国立大学病院 薬剤師研修受入延人日（平均値）	113.9	75.4	191.3	228.8		



指標の説明

他院からの研修受け入れの枠組みとして、日本病院薬剤師会や日本医療薬学会の研修制度がありますが、2019年度以降、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響で中止されていたこともあり、受け入れの実績はありません。今後、感染症の蔓延等、特別な事情がなければ受け入れを継続する方針です。

71

薬学生の受入実習学生数

国立大学
病院

指標の意義

薬剤師養成教育機関から、どの程度、学生の教育実習を受け入れているかを表す指標です。間接的に実習の教育体制の充実度を評価することができ、単なる受入れ人数ではなく、延べ人数（人数×日数）とすることで、臨地実習に対する貢献の程度を評価しています。

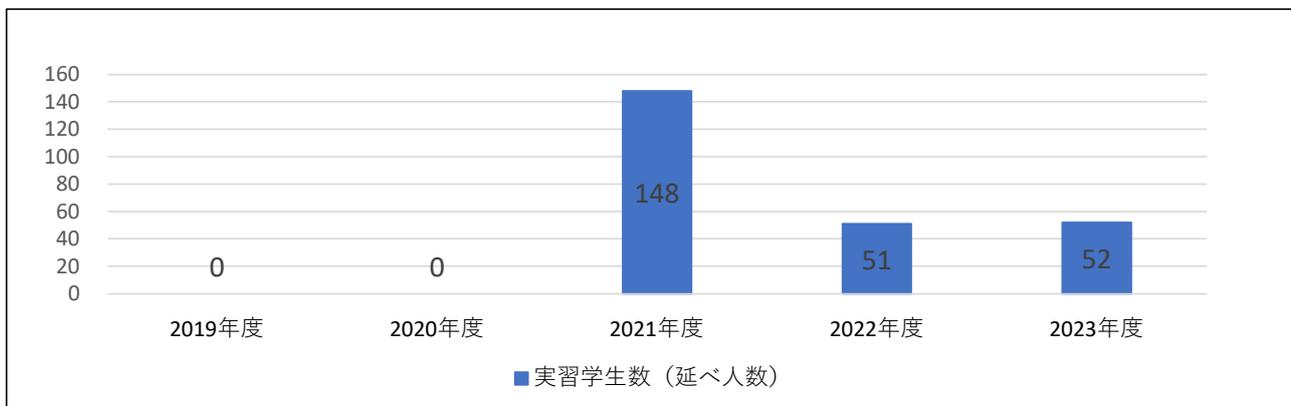
定義

1年間の養成教育機関からの実習学生延べ人日（人数×日数）

（1日体験は除く）

当院の実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
実習学生数（延べ人数）	0	0	148	51	52	（人日）
国立大学病院 薬学生実習受入人日（平均値）	955.8	839.9	884.1	985.8		



指標の説明

当センターでは、2021年度より実習学生の受け入れを開始しました。2023年度以降も受け入れる予定です。

指標の意義

看護職員、薬剤師以外で国家資格を持つ医療専門職人材の研修を受け入れる体制を表現する指標です。単に受け入れ人数ではなく、延人数（人数×日数）とし、研修に対する貢献の程度を評価します。

定義

1年間の外部の医療機関などからの研修受入れ延べ人数（人数×日数）

（外部の医療機関とは他の病院、外国、行政機関、個人とする）

当院の実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
管理栄養士（延べ人日）	1	0	0	0	1
臨床検査技師（延べ人日）	1	0	1	1	0
診療放射線技師（延べ人日）	19	0	0	0	0
OT・PT・ST（延べ人日）	8	3	0	0	7
歯科衛生士	3	0	0	0	0
臨床心理士	1	0	0	0	4
診療情報管理士（延べ人日）	0	0	0	0	0
MSW（延べ人日）	0	0	0	0	0
研修受入総延人日	33	3	1	1	12
国立大学病院 研修受入延人日（平均値）	308.4	189.5	249.7	224.7	

指標実績の分析・評価

研修受入実績は回復基調にあります。今後も、研修施設からの依頼に応じて可能な範囲で受入れを検討していきます。

73

看護師・薬剤師以外の医療専門職学生の受入実習学生数

国立大学
病院

指標の意義

看護職員、薬剤師以外の国家資格を目指す学生への実習教育体制を表す指標です。単に受け入れ人数ではなく、延人日（人数×日数）とし、研修に対する貢献の程度を評価します。

定義

1年間の外部の医療機関などからの実習学生受入れ延べ人日（人数×日数）
（1日体験は除く）

当院の実績

学生	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
管理栄養士（延べ人日）	40	0	0	0	20
臨床検査技師（延べ人日）	33	0	0	43	42
診療放射線技師（延べ人日）	0	0	0	128	0
OT・PT・ST（延べ人数）	0	0	0	0	0
歯科衛生士	0	0	0	0	0
診療情報管理士（延べ人日）	0	0	0	0	0
MSW（延べ人日）	0	0	0	0	0
実習受入総延人日	73	0	0	171	62
国立大学病院 学生実習受入人日（平均値）	1,989.0	1,100.8	1,150.9	1,298.9	

指標の説明

管理栄養士、臨床検査技師、診療放射線技師の養成校からの実習受入れの実績はありますが、他の職種の養成校実習受入れ実績がありません。今後は、可能な範囲で学生実習の受入れを検討していきます。

74

多職種がん専門レジデント受入人数

自院

指標の意義

当院では、がん対策基本法の理念の実現をめざし、がん専門の優秀な医療従事者を養成するため、全国的にも例のない先駆的な取組みとして「多職種がん専門レジデント制度」を2008年に創設しました。

この制度は、看護師、薬剤師、各種技師、医療社会福祉士等13職種の医療従事者を対象とした職種別のレジデント制度です。

定義

年度の採用者数（職種別）

当院の実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
看護師	0	0	0	0	0
薬剤師	2	2	5	2	3
臨床治験コーディネーター	1	0	0	0	0
診療放射線技師	0	0	0	1	1
臨床検査技師	4	4	2	3	3
OT・PT・ST	2	2	2	1	2
臨床心理士	1	0	0	0	0
歯科衛生士	2	1	0	2	2
チャイルドライフスペシャリスト（CLS）	0	0	0	1	0
診療情報管理士（延べ人日）	2	1	0	0	1
医療社会福祉士	2	1	0	2	0
受入れ人数	16	11	9	12	12

指標の説明

職種では、臨床検査技師、リハビリテーション（OT・PT・ST）について、がんに関する症例を豊富に経験できることから人気が高く、常に定数を維持しています。研修2年間でまとめた研究成果を発表するなど充実した制度であり、修了生は全国の医療機関等で活躍しています。がん医療に従事する人材育成のために、職種に偏りなく研修生が集まるよう、継続的に広報、採用、育成を進めていく考えです。